

ロボテラパス

携帯使い生中継

システム
開発

障害者スポーツに照準

コンサルティング事業などを手掛けるパステラボ（金沢市、伊藤数子社長）は、携帯電話を活用した生中継システムを

などで会場に足を運ばない人々の需要が見込まれる障害者スポーツ大会、イベントなどを対象に事業展開する。

NTTドコモのテレビ付き携帯電話をテレビカメラの役割にしてスポーツ大会などを撮影、パステラボが設置する中継本部を通じてインターネットの専用ホームページに映像を配信する。重度の障害があり遠征に参加できない選手の自宅や観戦希望者の集まる場所に

パソコンや携帯を設置することで複数拠点での受信も可能だ。

選手のインタビュー、応援者から選手へのメッセージなども発信できる。携帯での映像配信なので画像はそれほど鮮明ではないが「仲間うちのコミュニケーションツールとしては十分機能する」（伊藤社長）。

システム当たりの費用は平均で約五十万円。九月に横浜市で開かれる

全日本電動車いすサッカー大会のほか、二〇〇七年の障害者サッカー世界大会での採用も決まった。災害時の中継システムなどにも応用可能。伊藤社長は「年間五十件程度の試合を中継できるようになれば」と話している。